

2025年度 第2回応募

学校名： 横浜市立希望ヶ丘小学校

対象学年： 4年生

① 学習指導案 学校指定様式がある場合は別資料として提出してください。

プログラム	No.5「地域カルタをつくろう」 No.8「言葉の贈り物」
単元名 (全20時間)	自分たちのまちのことをもっと知ろう！伝えよう！ ～みんなが大好き！希望が丘のまち～
学習のねらい	自分たちの住む地域の魅力を探したり、地域についてのカルタづくりをしたりする活動を通して、より地域への愛着をもち、その気持ちを伝えることができる。
学習内容	1 希望が丘商店会から、希望が丘のまちに学習を広げよう 2 希望が丘のまちの魅力を探そう 3 探してきたこのまちの魅力をたくさんの人に紹介しよう 4 希望が丘のまちのよさを伝えるカルタづくりをしよう
参考資料 準備品 実施場所等	・タブレット端末 ・看板用の木の板 ・ペンキなど ・かるた用の板目紙 ・教室、学校周辺

学習の流れ



時間	学習活動	教師の指導	評価
1	・3年生の時の総合的な学習の時間での活動をふりかえる。		【課題設定】 地域の魅力について調べたことを表現していくために課題を設定している。
2	・自分たちが知っている地域のよさをもっと探して、多くの人に伝える見通しをもつ。		【思考・分析】 景観マップやカルタを作るために、適切な手段や内容を選択して、必要な情報を考えながら収集する。
3～	・希望が丘のまちを調べる計画、集めた情報をまとめる計画を立て、まち調べを行う。		【他者理解】 グループやクラスの友達と協力しながら活動に参加している。
9～	・調べてきたことや撮ってきた写真を共有し、地図などにまとめていく。	・「感性カード」などを使い、発見や撮影した一つの場所のよさや、そこにある意義を考える。	【自己理解】 これまでの活動を振り返り、地域に対する今の自分の考えを確立させ、これからの地域生活について考えている。
13～	・まとめた成果物をもとにして、誰に、どんな思いで、何を伝えていきたいのか話し合い、地域のカルタづくりを進める。		
18～	・作成したカルタを活用してできることは何かを話し合い、校内や地域の人とのつながりを考えて活動していく。	・発信の対象は校内に留まらず、様々な方と繋げられるようにする。	

<留意点>

① 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立希望ヶ丘小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
4時間	教室	<p>○導入、活動の見直しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生の時の総合的な学習の時間を想起した。 ・総合的な学習の時間の進め方を確認。 ・希望ヶ丘のまちのよさのイメージを共有する。 ・学習計画を立て、見直しをもつ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習対象が3年生の時の商店会から広がることを知り、わくわくしている様子だった。 ・希望ヶ丘のまちのよさの認識としては、「やさしい人が多い」や「坂がたくさんある」など、イメージに基づく思考がほとんどだったので、根拠をもつことの大切さを指導したところ、「調べなきゃ分からないから、まち調べに行きたい」という声があがった。
2時間	学校周辺	<p>○まち調べ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の周りを、写真を撮りながら探索した。 ・児童一人ひとりが、「よさ」につながる写真を撮った。 		<ul style="list-style-type: none"> ・学校の近くにある大きな公園でさえ、「今まで行ったことがなかった」という声もあり、新しい発見を楽しんでいる様子だった。 ・一人ひとりが思い思いに写真を撮っていたが、一人が撮り始めると他の子どもそれにつられて写真を撮っている姿があり、この後の学習で一枚一枚の写真の意味を考える必要性を感じた。
3時間	教室	<p>○まち調べで撮影してきた写真と、自宅周りで撮影してきた写真の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回、全員でまち調べをしてきた視点・観点をもとに、自宅付近でも写真を撮り、「よさ 		<ul style="list-style-type: none"> ・「一番のお気に入り」の写真に「何がよさなのか」というコメントを入れることを課題として与えたところ、「なんとなくよい」ということではなく、明確な理由をもつことができた。

		<p>」の範囲を広げた。</p> <ul style="list-style-type: none"> •それぞれが自宅付近で撮影してきた写真の中で「一番のお気に入り」を共有して、一枚の地図を作成した。 		<ul style="list-style-type: none"> •タブレットで自宅付近での写真を撮ってくるように課題を出した。ほとんどの子が課題を行ってきており、この学習への意識の高さを感じた。
3時間	教室	<p>○一枚の地図に貼られた写真を見ながら、「このまちのよさ」を具体化していった。</p> <p>○見つけた「このまちのよさ」をどのように発信していくかについての見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> •「希望が丘のまちのよさとはなにか」を、みんなが撮ってきた写真をもとに話し合う。 		<ul style="list-style-type: none"> •しっかりと写真を見ながら、「安全」や「安心」、「自然が多い」などの根拠をもったこのまちの「よさ」を見つけ出すことができていた。 •「これは他の場所と比べないと分らないかな」「他にも似たような場所があるかもしれないから、希望が丘のよさと言っていいのか分からない」などと、質の高い話し合いをしていた。
12時間	教室	<p>○自分で選んだ「よさを伝える方法」のグループごとに活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> •かるたづくりに取り組む人数が一番多かったが、動画をつくりたい、看板を描いて、まちのよさを地域の人や観光客に伝えたいなどの声もあがったため、児童の思いを尊重して、複数の活動を展開することで、モデルプログラムNo.8の「言葉の贈りもの」にすることとした。 <p>○これまでの学習活動のふりかえり</p>	  	<ul style="list-style-type: none"> •かるたづくりのグループは、「タブレットではなくて、手書きのよさを生かしたい」という思いから、絵札、読み札ともに手書きで作成していた。グループ内でアイデアを出し合い、言葉を選びながら進めていた。 •自主的に学校外の地区センターや、かつて通った幼稚園、保育園、今通っている学童などに交渉に行き、自分たちが作成した物を置いてもらえる許可をもらってきた。

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

- 3年生の総合的な学習の時間は、本校のカリキュラムとして確立している学習内容であるため、ある程度教師の指導による道筋があった。そのため、導入の時点で子どもたちに「総合的な学習の時間の展開の仕方」を聞いたところ、見通しが見えていなかったようなので、探究的な学習の仕方を身につけるために、学習計画を子どもと一緒に丁寧に考えた。
- かるたなど、作成したものを外部の人に見てもらうためには、きちんと依頼をしなければいけないことなどの基本的な知識について指導した。そうしたところ、「公園に『よいところMAP』を置かせてもらいたい」と考えた子どもたちが、自主的に公園の管理者について調べ、区の土木事務所にお問い合わせの手紙を書いてきた。地域の地区センターや学童、幼稚園などにも成果物を置いてもらう依頼を自主的に行っていた。3年生の時には、活動の発表が校内に留まっていたため、楽しんで自主的に活動していた。

(2) 実施にあたり苦労した点

- 「景観」という視点で学習を進めることに苦労した。どうしても、そこにある「物」に子どもの視点はいついてしまい、風景、見た目の全体的な印象という部分でまちの様子やよさを感じることができたのは少数だった。

(3) 児童の反応

- A児のふりかえり：最初は希望が丘のよさを知りたいと思っていました。だけど、最終的に希望が丘のよさを知って、「すごい！」とか「そうなんだ！」と思ってもらえるように発信することが自分の目標となりました。
- B児のふりかえり：最初は自分たちが住んでいる町だけど、希望が丘のよさをなかなか見つけることができませんでした。でも、みんなでよいところを共有して、そんなよさがあるなあということがたくさんあったので、この学習をしたことで自分が住んでいる希望が丘にはたくさんのよいところがあることを知り、ますますこの町が好きになりました。
- C児のふりかえり：希望が丘のよさを詳しく知ることができたし、もっと知りたいと思えたのでよかったです。正直、大変だったけれど、自分にとってよい経験ができたのでうれしかったです。改めて「協力して活動することのよさ」が分かりました。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- これまではなかなか行くことのなかった地域の公園などに子どもたちと一緒に行くことで、図工の材になりそうな場所や、子どもたちの放課後の様子を知ることができた。
- 4年生の子どもたちの学習に対する意欲や行動力の素晴らしさを感じた。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

- 今回の学習活動では、各々が発信したい方法を選んで取り組んだが、クラスみんなで一つのことに取り組むためには、学習計画を立てる段階で目標や手段を焦点化する必要があった。クラスの一体感を高めるためにも、少し教師の出る場を考える必要があったと考え、そこが課題である。